

全鉄連流通動態調査結果表 2021年2月分

(2021. 3. 23)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		1月実績	前月比	2月実績	前月比	2月実績	前月比	2月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	5,806	115.6%	32,178	89.2%	31,981	90.7%	6,003	103.4%	
	大阪	3,393	107.9%	16,947	100.0%	16,700	100.0%	3,640	107.3%	
	愛知	2,942	101.2%	7,037	169.4%	6,654	161.5%	3,325	113.0%	
	計	12,141	109.6%	56,162	98.3%	55,335	98.6%	12,968	106.8%	
形鋼	山形鋼	東京	17,364	101.8%	7,265	101.2%	7,177	104.6%	17,452	100.5%
		大阪	20,642	101.2%	8,763	100.0%	8,509	100.0%	20,896	101.2%
		愛知	8,215	102.5%	4,906	109.0%	3,756	87.4%	9,365	114.0%
		計	46,221	101.7%	20,934	102.4%	19,442	98.8%	47,713	103.2%
	溝形鋼	東京	14,586	99.5%	4,956	97.9%	5,198	101.2%	14,344	98.3%
		大阪	12,928	105.4%	5,671	100.0%	5,006	100.0%	13,593	105.1%
		愛知	6,455	103.3%	3,055	103.9%	2,561	93.7%	6,949	107.7%
		計	33,969	102.4%	13,682	100.1%	12,765	99.1%	34,886	102.7%
	H形鋼	東京	32,301	104.5%	13,438	90.9%	13,062	97.6%	32,677	101.2%
		大阪	48,273	106.3%	26,015	100.0%	23,147	100.0%	51,141	105.9%
		愛知	14,519	97.3%	8,990	110.3%	8,530	99.8%	14,979	103.2%
		計	95,093	104.2%	48,443	99.0%	44,739	99.2%	98,797	103.9%
合 計		175,283	103.2%	83,059	100.0%	76,946	99.1%	181,396	103.5%	
コ ラ ム	東京	9,919	108.4%	2,324	87.8%	2,302	122.3%	9,941	100.2%	
	大阪	14,877	98.0%	2,864	100.0%	3,173	100.0%	14,568	97.9%	
	愛知	1,754	109.0%	931	65.7%	847	66.5%	1,838	104.8%	
	計	26,550	102.3%	6,119	88.3%	6,322	99.9%	26,347	99.2%	
軽量C形鋼	東京	3,523	100.7%	1,994	97.3%	1,792	88.5%	3,725	105.7%	
	大阪	3,171	98.2%	1,324	100.0%	1,383	100.0%	3,112	98.1%	
	愛知	2,266	102.5%	1,128	123.4%	876	102.1%	2,518	111.1%	
	計	8,960	100.2%	4,446	103.7%	4,051	94.9%	9,355	104.4%	
総 計		222,934	103.3%	149,786	98.9%	142,654	98.8%	230,066	103.2%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知13 合計63社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。